

令和6年度 事業実績報告書

公1 県民主体の国際交流・協力活動の促進

(1) 国際ふれあい広場 in こうち開催事業

県民の国際交流に対する理解と関心の醸成、活動参画へのきっかけづくりなどを目的として、国際交流に関する総合イベントを開催した。

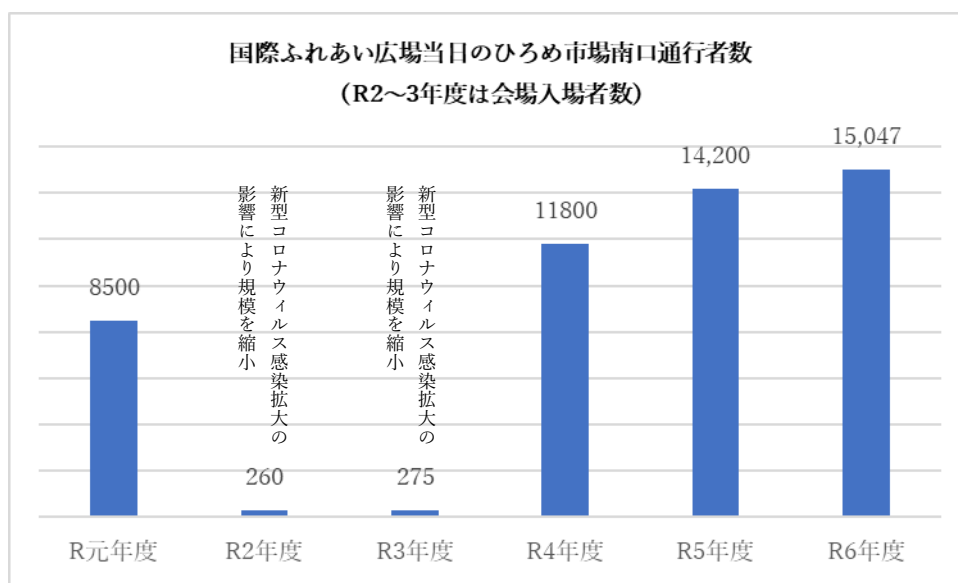
開催日：令和6年11月17日（日）

場所：ひろめ市場よさこい広場・大橋通商店街・帯屋町二丁目商店街・高知県立高知城歴史博物館（和室）

テーマ：高知で 広がる 多文化共生

入場者数：15,047 名

内容：参加団体による写真展示・交流・文化体験・相談ブース、外国の民芸品・飲食の販売、高知県外国人生活相談センターの出張相談会、SDGs 紹介、またステージ上での歌や踊りのパフォーマンス披露等を行った。



(2) 親子で学ぶ国際理解講座開催事業

子供たちの国際的な関心を育むことを目的とし、親子で外国の文化や生活について学習した。外国の伝統行事や祭りに使用する装飾品等を手作りする体験を通して親子の絆を深め、さらに講師となる在住外国人や国際交流員とのふれあいの中で、多文化共生に対する理解を深める講座を開催した。

① 開催日：令和6年8月17日（土）

場所：高知県国際交流協会ラウンジ

講師：高知県国際交流員（ベトナム）

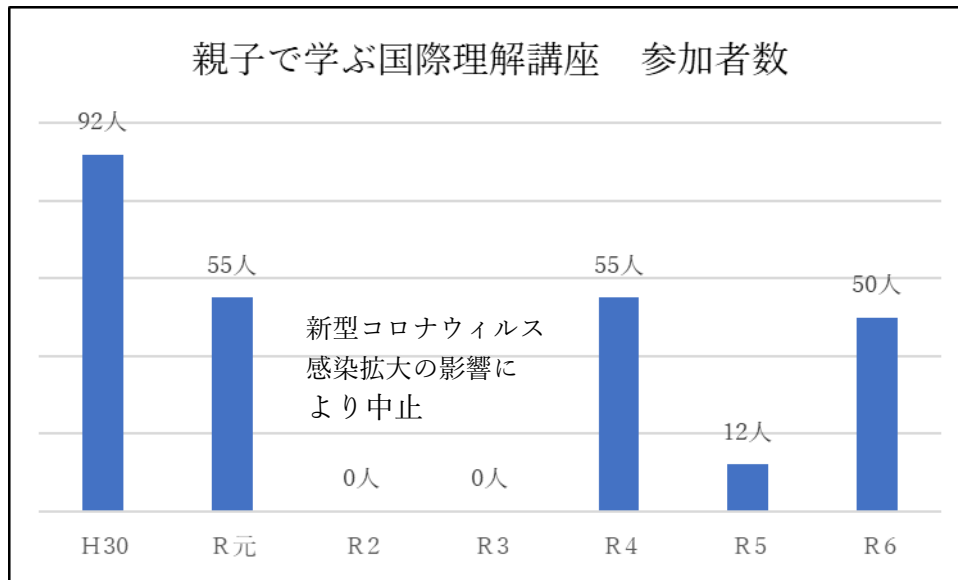
参加者：8組 18 名

② 開催日：令和7年1月25日（土）

場 所：本山町立吉野小学校

講 師：JICA研修員（ガーナ、マリ）

参加者：32名（吉野小学校児童及びその父兄）



（3）多文化共生(出前)講座開催事業

「多文化共生」をテーマに講座を開催したほか、高知県海外技術研修員や高知県協力研修員を講師として母国の生活様式や習慣についての紹介、ワークショップを開催し、学校や公民館等では出前講座を実施した。

また、希望する言語で参加者同士が国の文化等についてフリートークを行う「外国語でおしゃべりセッション」を開催し、外国人を含む地域住民同士の交流や多文化共生の理解促進を図った。

○多文化共生講座

①開催日：令和6年9月28日（土）

場 所：オーテピア 4F ホール

講 師：KIA職員、ココフォーレ職員、高知県海外技術研修員、高知県国際交流員、JICA職員及び研修員、オーテピア高知図書館職員

受講者：24名

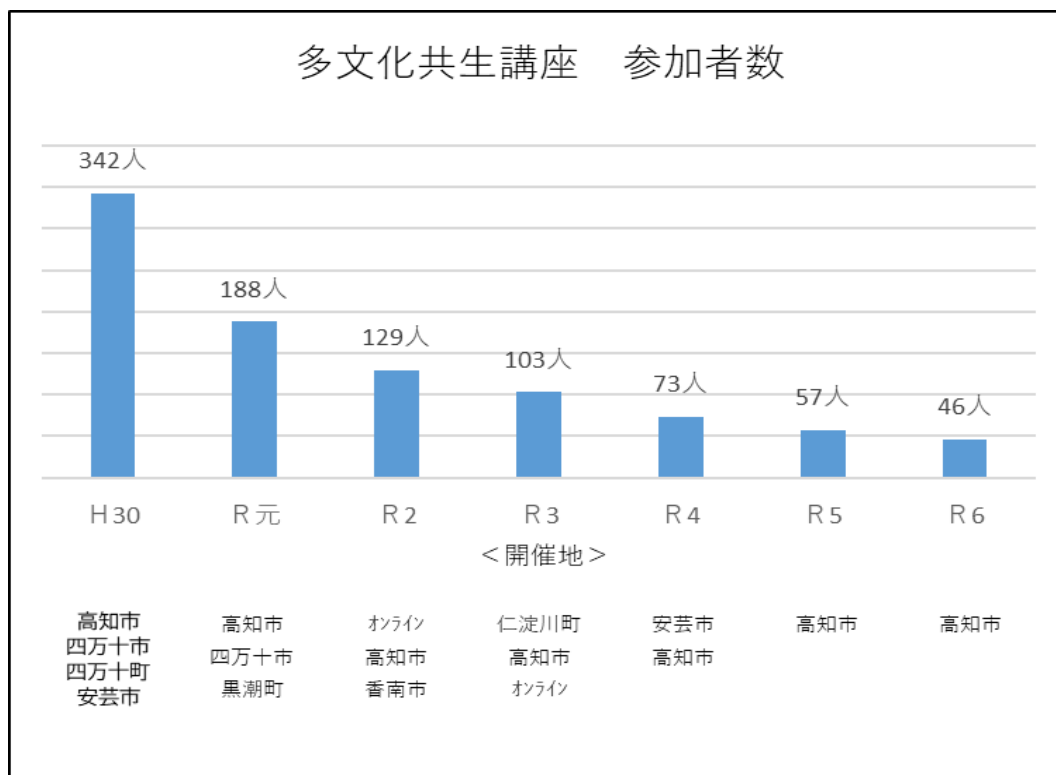
②開催日：令和6年12月21日（土）

場 所：高知県国際交流協会ラウンジ

講 師：高知県海外技術研修員（パラグアイ、アルゼンチン、ブラジル）

受講者：22名

（計46名）



○多文化共生出前講座

①開催日：令和6年5月10日（土）

場 所：高知県国際交流協会ラウンジ

講 師：KIA 職員、ココフォーレ職員

受講者：21 名

②開催日：令和6年7月30日（火）

場 所：高知大学大学院スポーツ芸術文化共創専攻

講 師：KIA 職員、ココフォーレ職員

受講者：7 名

③開催日：令和6年8月6日（火）

場 所：津野町立中央小学校

講 師：K I A 職員、J I C A 職員

高知県海外技術研修員（ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン）

受講者：71 名

④開催日：令和6年8月23日（金）

場 所：津野町社会福祉協議会

講 師：K I A 職員、

高知県海外技術研修員（ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン）

受講者：23 名

【拡充】地域日本語教室と連携した親子で学ぶ国際理解講座

⑤開催日：令和6年11月30日（土）

場 所：香美市立図書館（つながるーむ）

講 師：高知県国際交流員（ベトナム）

受講者：19名

⑥開催日：令和6年12月11日（水）

場 所：大津ふれあいセンター（高知市）

講 師：K I A職員、

高知県海外技術研修員（ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン）

受講者：9名

⑦開催日：令和6年12月13日（金）

場 所：高知大学教育学部

講 師：K I A職員、ココフォーレ職員

受講者：99名

⑧開催日：令和7年1月11日（土）

場 所：大川村大川小中学校

講 師：K I A職員、高知県国際交流員（アメリカ）

高知県海外技術研修員（パラグアイ）

受講者：33名

⑨開催日：令和7年2月13日（木）

場 所：香美市（宝町集会所）

講 師：K I A職員、高知市国際交流員（インドネシア）

高知県海外技術研修員（ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン）

受講者：25名

⑩開催日：令和7年3月7日（金）

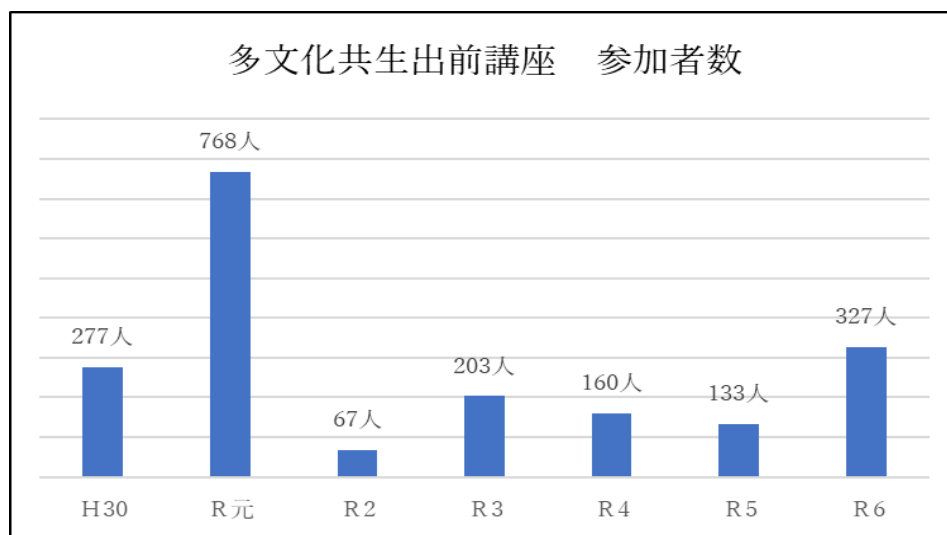
場 所：南国市久礼田小学校4年生

講 師：K I A職員、

高知県国際交流員（イギリス、ベトナム）

受講者：20名

（計 327 名）



(4) 国際ボランティア活用事業

当協会及び外部からの依頼に応じて、当協会に登録している国際ボランティアを活用または紹介し、県民と外国人との交流機会の増大を図り、また交流を円滑にすることにより県内の国際交流の推進に寄与した。

○活用・紹介実績

延べ 30 件 (41 名)

語学ボランティア 10 件 (9 名)、日本語ボランティア 4 件 (4 名)

学生ボランティア 11 件 (25 名)、ホームステイボランティア 5 件 (3 名)

※人数については受入や紹介確定後、連絡があった数。

○ボランティア登録者数 (R7.3.31 現在)

ホストファミリー：37 名、日本語ボランティア：93 名

語学ボランティア：146 名、災害時語学ボランティア：96 名

学生ボランティア：23 名

公 2 国際交流、協力活動等の情報収集と提供

(1) 協会機関誌 (WINDOW) 発行业

当協会の活動報告をはじめ、JICA ボランティア活動報告、友好姉妹都市学生等交流事業などを掲載した WINDOW を 2 回発行した。

発 行 月：令和 6 年 9 月、令和 7 年 3 月

発行部数：9 月 1,800 部、3 月 1,800 部

内 容：A4 版 8 ページ

(2) インターネット情報収集・提供事業

当協会のホームページ及びフェイスブックを活用し、県内外の国際交流情報や国際ボランティア活動、民間国際交流団体の情報を広く県民や在住外国人に提供した。

(3) 地域連携情報提供事業

市町村で開催されるイベント等にブース出展等を行い、パネル展示や資料配布など協会の事業説明・PR 活動を実施した。

○こころんフェスタへの出展

開催日：令和 6 年 12 月 8 日 (日)

場 所：東洋電化中央公園

公 3 民間国際交流・協力団体活動の促進

(1) 民間国際交流・協力団体連絡協議会開催事業

当協会より、県内の民間国際交流・協力団体に対し、次年度の助成事業の説明や多文化共生事業に関する情報共有を行うとともに、参加者間での情報交換を通じ、団体相互間の連携及び県内における国際交流・協力活動の円滑な推進を図った。

事例発表：土佐市地域おこし協力隊「土佐市を拠点とした多文化共生への試み」

(2) 民間国際交流・協力団体助成事業

民間国際交流、協力支援の一環として、県内の民間国際交流関係団体が実施する国際交流・協力事業等に対して助成を行った。

5 団体 計 300,000 円

(3) 民間国際交流・協力団体人材育成セミナー事業

民間国際交流・協力団体及び個人の国際交流活動の活発化と、県内の多文化共生社会の実現を担う人材の育成を図るセミナーを開催した。

開催日：令和7年3月1日（土）

場 所：高知県人権啓発センター 6階ホール

テーマ：「多様な外国人と作る社会 私ができることはなんだろう」

参加者：26 名

公4 在住外国人との共生

(1) 日本語講座開催事業

在住外国人を対象に、生活に必要な日本語の講座を開催した。また、地域住民との交流や公共サービス等を学習する機会としての「地域活動」を年4回実施した。(10月：オーテピア高知図書館の利用学習会、7月・10月：防災学習会、12月：ポットラックパーティー)

○日本語講座開催事業

開催期間：令和6年5月13日（月）～ 令和7年3月3日（月）

開催場所：高知県国際交流協会 研修室

受講者：初級18名 初中級12名 はたらくための日本語10名

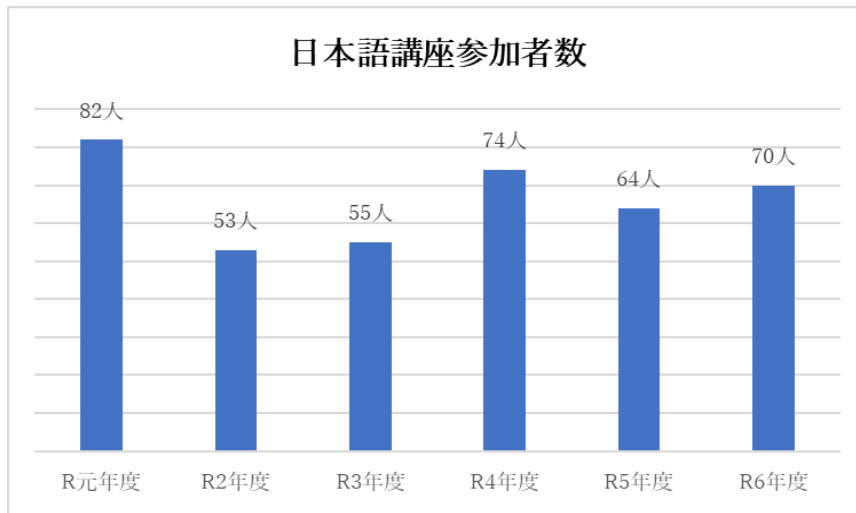
○昼間の日本語講座

家庭や仕事の事情で夜の日本語教室に参加できない在住外国人のために、昼間の日本語講座を行った。※高知日本語サロンへの委託事業

開催期間：令和6年5月16日（木）～令和7年3月13日（木）

開催場所：高知県国際交流協会 研修室・同ラウンジ

受講者：30 名



(2) オンライン・ICT等を活用した日本語教室開催事業

○オンライン日本語クラス

近隣に日本語教室がない等の県内在住者を対象に、生活や仕事に必要なオンライン講座を3クラス（内訳：初級2クラス、入門1クラス）開催した。また、地域住民との交流や公共サービス等を学習する機会としての「地域活動」を年4回実施した。（7月（2回）：防災学習会、10月（1回）：ココフォーレ紹介、12月：高知県立大学「日本語教員養成プログラム」の実習生4名を受入）

開催期間：令和6年5月13日（月）～令和7年2月17日（月）

受講者：入門 水曜夜13名

初級 月曜昼4名、木曜夜16名

○日本語学習動画作成

在住外国人が仕事や生活の場面でよく使われる土佐弁を理解し応答できるようにすることを目的とした動画1本と、高知県外国人生活相談センター（ココフォーレ）の紹介動画1本を作成しYouTube等に掲載した。

(3) 在住外国人のための生活情報冊子の発行・ブログ発信事業

県内在住外国人が安心して快適に暮らせるように、高知の文化、歴史、生活等に関する情報を提供するため、生活情報誌「Tosa Wave」（英語及び中国語版、日本語ルビ付き、やさしい日本語版）を年に1回発行、またホームページにて掲載した。

発行部数：各号1,000部

主な配布先：各市町村外国人登録担当窓口、英会話学校、教会、県内国際交流協会、県内各大学、技能実習生受入機関、ゲストハウス等

(4) 在住外国人への防災・災害情報提供事業

県内在住の外国人が南海トラフ地震等の災害から身を守るため、また、その被害をできるだけ少なくするための取り組みを行った。

○語学サポーター活動の円滑化と、万一に備えてボランティア活動保険に加入

加入者数：17 名

○日本語教室内（高知市）での防災学習会の実施（7、10 月）

内容：株式会社フタガミの防災アドバイザー兼防災士による災害の基礎情報、災害時に起こりうる周りの状況、そして発災時自分の身を守る方法についてのレクチャー、揺れマット体験、トイレ用凝固剤の使い方 等

○高知工科大学留学生向け防災講習会（4、9 月）

○災害時の外国人支援セミナーの開催

高知県災害多言語支援センターの運営にもつながる避難所における外国人被災者の受入対応の演習などについて、講義も交えながら実施した。

開催日：令和 7 年 1 月 31 日（金）

場 所：県民文化ホール 4 階多目的室

講 師：高木 和彦(NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事)

内 容：【講義】災害時における外国人対応

【演習】避難所における外国人被災者の受入対応

参加者：49 名

○災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練

同上のセミナーにおいて実施

○南海トラフ地震啓発パンフレットや携帯カードの配布

(5) 語学ボランティアを対象とした通訳・翻訳講座開催事業

語学ボランティア登録者等を対象に、日常生活の様々な場面で通訳を行うコミュニティ通訳の心構えや倫理等を学ぶための講座を開催した。

開催日：令和 6 年 10 月 12 日（土）

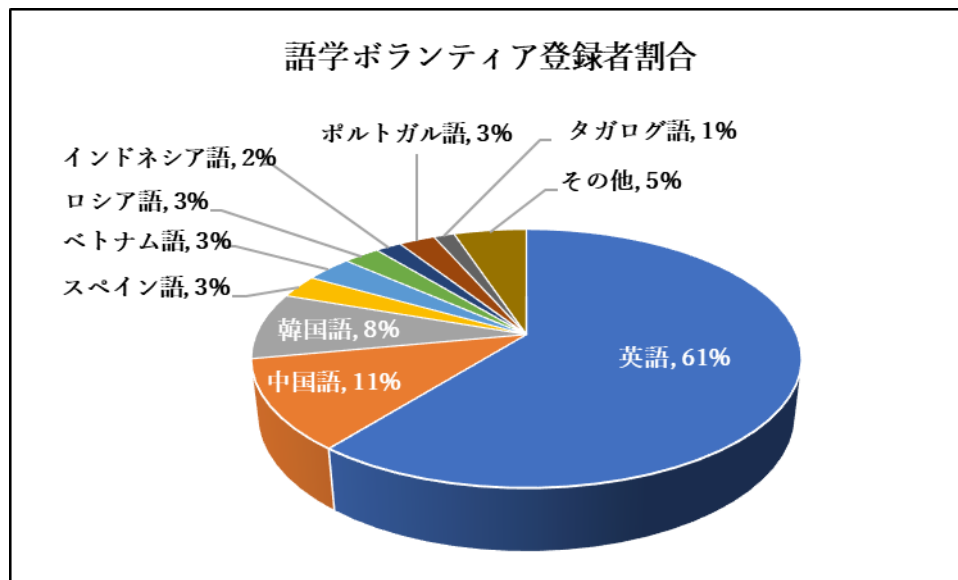
場 所：オーテピア 4 階（集会室）

講 師：佐藤 恵子氏（高知日本語サロン日本語教師、KIA 語学・災害ボランティア）

高橋 瑞絵氏（ココフォーレサポーター）

テーマ：高知で学ぶコミュニティ通訳

参加者：51 名



(6) やさしい日本語普及事業

やさしい日本語を普及するためのチラシを作成し、研修会やイベント等で配布した。また、日頃業務上などにおいて、在留外国人と接する機会のある自治体職員等向けに、様々な場面で役立つやさしい日本語について学ぶための演習を織り交ぜたセミナーを開催した。

開催日：令和7年1月10日（金）

場 所：オーテピア 4階研修室

講 師：犬飼 康弘（公益財団法人ひろしま国際センター 日本語常勤講師）

参加者：44名

(7) 在住外国人の生活相談事業（高知県からの受託事業）

「高知県外国人生活相談センター」が、外国人からの相談に加えて、外国人とかかわりのある事業者等からも外国人が関係する相談を受け付けて対応を行った。

① 相談件数

総件数 892 件（内訳：外国人 630 件、事業者等 262 件）

② 相談会等の実施

- ・在留資格と生活全般に関する出張相談会

四万十市（8/22）、土佐市（11/8）、南国市（12/8）で開催。合計 23 件の相談を受けた。在留資格に関する相談には高松出入国在留管理局より統轄審査官を招いて直接対応いただいた。

- ・外国人のための無料法律相談週間

高知弁護士会および法テラス高知の協力を得て 2 回開催（9/25～9/30、2/26～3/2）。相談には高知弁護士会の弁護士に直接対応いただき、合計 21 件の相談を受けた。

- ・ココフォーレが法テラス高知の指定相談場所（令和４年１２月１５日～）となり、弁護士との相談にココフォーレスタッフが言語面でサポートができるようになった。今年度は遠方の相談者が利用しやすいように相談の受付方法について要綱の一部改定を行い、手続きを簡素化した（令和６年１２月１６日から施行）。令和６年度は４件の相談を受けた。
- ・その他（各種イベント参加による展示＆相談活動）
グローバルキャリアフェア in 高知（10/17）、高知ベトナム交流会 2024（11/17）、国際ふれあい広場 2024（11/17）、高知県中小企業団体中央会主催イベント（2/6）など 20 件の相談会・懇談会やイベントにて広報展示ならびに相談ブースを設置し相談への対応も実施した。これらイベントでは合計 96 件の相談に対応した。

③ サポーター登録および活動状況

- ・サポーター登録者数
サポーターは相談者である外国人に寄り添ってサポートするほか、通訳や翻訳、相談会等の運営などにボランティアとして協力する。令和７年３月末時点で 119 名が登録。
- ・サポーター活動状況
令和６年度は年間延べ 20 名のサポーターが英語通訳などの支援活動を実施した。

④ 広報・PR 活動

- ・ココフォーレガイド（センター紹介誌）の発行
令和３年度に発行した日本語版に加え、令和４年に英語版、中国語版、ベトナム語版、インドネシア語版、韓国語版、令和６年度にミャンマー語とクメール語を順次発行。今年度もイベントなどを通して県内の各自治体、図書館、県立施設、大学・専門学校、日本語教室、監理団体、登録支援機関のほか関係団体等に配布した。
- ・ココフォーレニュースの発行
ココフォーレニュースはセンターの相談活動や外国人の生活に役立つ情報等を発信する情報誌で、令和６年度は夏号（７月）と冬号（１月）を発行。
- ・ココフォーレ活動周知のためココフォーレサポーター向けにサポーター便りを年４回（春号、夏号、秋号、冬号）発行。
- ・ホームページ、Instagram を活用した広報＆PR
外国人に有用な生活情報や行政情報などを随時提供するとともに、Instagram では高知の自然・文化・食などのほか、ベトナムや中国の文化・食などの紹介を行った。
- ・県内３市役所エントランス等にて PR 展示
四万十市、南国市、土佐市で開催した出張相談会に合わせ、それぞれの市役所のエントランスならびに南国市「みあーれ」、土佐市「つなで」にて PR 展示を実施（２～４週間）。

- ・多文化共生や人権をテーマにしたセミナーやワークショップを県内自治体や大学で5回開催。(参加者数合計：96人)

⑤ 運営協議会の開催

センターからの相談状況報告、各機関からの提言・報告と共に、センターが抱える課題及び今後の取り組み等を協議する運営協議会を令和6年6月13日に開催。

公5 友好姉妹都市交流の推進

(1) 高知県友好姉妹都市交流推進助成事業

- ・高知県・安徽省友好交流委員会 200,000 円
- ・高知県・ベンゲット州姉妹交流推進会議 40,027 円

(2) 友好姉妹都市学生等交流推進事業

高知県と姉妹交流協定を締結している韓国・全羅南道から麗川高等学校の学生6名及び引率者3名(引率教諭1名、駐日本大韓民国全羅南道事務所長及び課長)を受入れし、県内高等学校等との交流及び視察を実施(7月28日～8月3日)

- ・交流実施校：4校(室戸、安芸、高知東高校及び高知県立大学)

公6 海外県人会活動の支援

(1) 海外県人会(中南米)活動支援事業

ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンの各県人会の運営や会員相互の親睦を図るための交流事業等について、各県人会活動を支援した。

県人会名	会員数 (R6.3末現在)	会 長 名	補助金額(円)
ブラジル県人会	230 名	甲藤 マリオ	323,000
パラグアイ県人会	670 名	渡辺 土佐男	282,150
在亜県人会	210 名	宮脇 エセキエル	201,400
合 計			806,550

※会員数は各県人会から県に報告があった人数

公7 海外技術協力の推進

(1) 高知県海外技術研修員受入事業（高知県からの受託事業）

中南米県人移住地域の青年を受け入れ、県内関係機関等で必要な専門知識や技術を修得させるとともに、県民との交流等を通して国際友好親善に寄与した。

国 名	研修テーマ	研修先	研修期間
ブラジル	貿易事務	日本通運 株式会社 四国支店高知営業課	令和6年8月1日～ 令和7年2月28日
パラグアイ	工芸品のマーケティング及び経営	株式会社 モリサ	令和6年7月29日～ 令和7年2月28日
アルゼンチン	建築設計	龍馬デザイン・ビューティ専門学校 株式会社 若竹まちづくり研究所	令和6年8月1日～ 令和7年2月28日

(2) 高知県協力交流研修員受入事業（高知県からの受託事業）

友好交流国（フィリピン）の自治体職員等を受入れ、本県が持つノウハウや技術等を修得させ、人づくりを通じた国際協力を推進するとともに、県民との交流を通じて国際意識の向上を図った。

国 名	研修テーマ	研修先	研修期間
フィリピン	農業技術	高知県農業技術センター	令和6年8月1日～ 令和6年11月30日